

自治会各種役員の スムーズな選出に向けて

～地域の高齢化と自治会活動の継続～

この資料は、受講生が地域デザインカレッジのプログラムの中で考えた企画を発表用にまとめたものです。自治会や町内会が組織として作成したものではありませんのでご了承ください。

丸子新田自治会

副会長 長谷川秀厚

副会長 藤澤弘子

1. 丸子新田の概要

(1) 位置

- ・ 安倍川の西側、長田地域
JR 安倍川駅の北東側に広がる

(2) 環境

- ・ 1945年以前は、田畑が広がる農業主体の地域
1985年にJR 安倍川駅が開業
1992年に静岡大橋が開通、宅地化が加速
- ・ 現在は、新興住宅地域

(3) 人口

- ・ 1, 0 2 2 世帯 (国勢調査 1, 3 4 3 世帯)
- ・ 3, 1 1 6 人 (国勢調査データ)
- * ここ15年間で約10%増加

(4) 年代構成

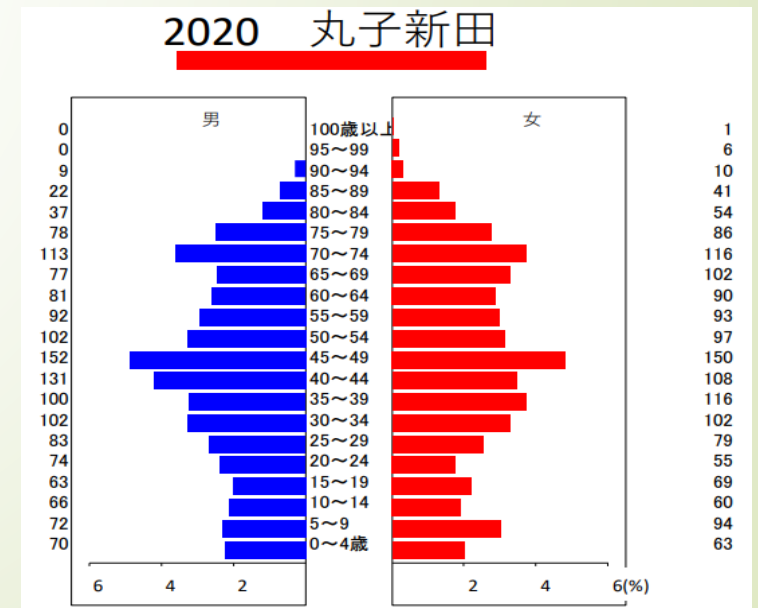
- ・ もっとも多い年代層は40歳代、次いで70歳代が多い
(第1期高齢化期)
- * 全体的にみて、ビアダル型

(5) 高齢化

- ・ 高齢者人口が、ここ15年間でおよそ2倍に増加
(地域人口の約24%を占める)



年代構成棒グラフ



2. 各種役員の選出方法（現状）

（1）自治会内の組数

- ・元来31組であったが、組内世帯数減少によって2組が自治会を退会し、
現在29組

（2）各組の世帯数

- ・多い組で40世帯、少ない組で6世帯
- ・おおむね15～25世帯

（3）各組選出の役員

- ①組長・②運営委員（広報、交通安全、防犯・イベント）
 - ③体育部員・④婦人部員・⑤防災委員（毎年選出ではない）
- 毎年度、4～5人の役員を選出

（4）役員の選出方法

- ・各組ごとに引き継いできた選出方法があり、必ずしも一律ではない
- ・多い選出方法としては、組内世帯の輪番制

3. 役員選出方法の見直しに向けて

(1) 役員選出の困窮（見直しの理由）

組内世帯数の減少
世帯後継者（若年層～中年層）の流出
住民の高齢化

近年、役員選出の困窮を
申し出る組が増加

(2) 高齢化等実状の把握（現状の把握）

「世帯主年代等実態アンケート」の実施

各組における高齢化状況の実状を把握し、
従来の役員選出方法の見直しを検討するための
参考資料とする

回答 令和4年6月15日

自治会会員各位 丸子新田自治会長 木田 編一

世帯主年代等実態アンケート（お願い）

近年、社会での少子・高齢化が進む中、丸子新田地区においても隣組内住民の高齢化傾向が目立ち始め、隣組内での役員（運営・体育・婦人等役員）の選出に苦慮しているとの相談が自治会へ多く寄せられるようになってきました。

つきましては、各世帯の高齢化状況の実態を把握して役員選出方法を検討する参考資料とするため、下記のとおりアンケートを取らせていただきます。ご協力をお願い致します。

※組織長は、7月11日（月）の次回組織長会にこのアンケート結果をご提出下さい。

組合長 [〇]

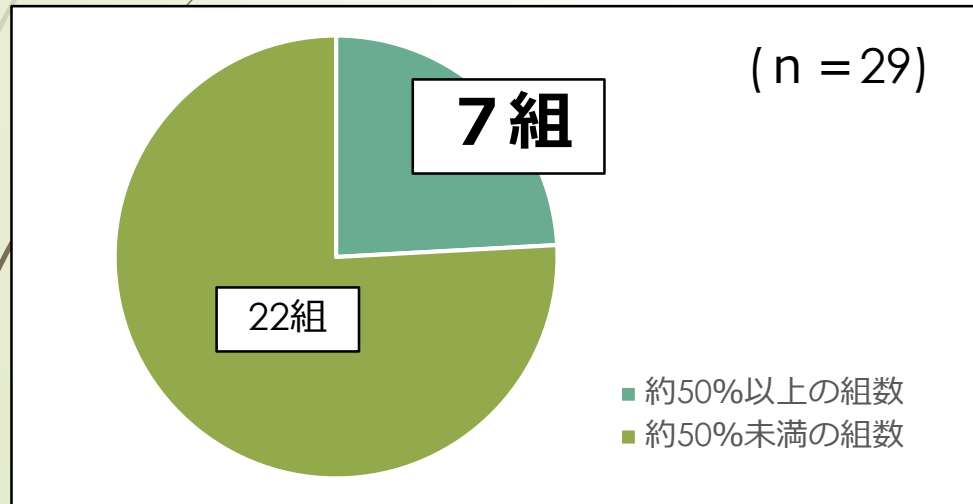
※該当する箇所には〇印を付けて下さい。

No.	世帯主の年代	同居世帯員数	世帯後継者の有無
1	1. 20～50歳代 2. 60歳代 3. 70～74歳 4. 75～79歳 5. 80歳以上	1. 1人 2. 2人 3. 3人以上	世帯主75歳以上のみ回答 有・無・不明
2	1. 20～50歳代 2. 60歳代 3. 70～74歳 4. 75～79歳 5. 80歳以上	1. 1人 2. 2人 3. 3人以上	世帯主75歳以上のみ回答 有・無・不明
3	1. 20～50歳代 2. 60歳代 3. 70～74歳 4. 75～79歳 5. 80歳以上	1. 1人 2. 2人 3. 3人以上	世帯主75歳以上のみ回答 有・無・不明
4	1. 20～50歳代 2. 60歳代 3. 70～74歳 4. 75～79歳 5. 80歳以上	1. 1人 2. 2人 3. 3人以上	世帯主75歳以上のみ回答 有・無・不明
5	1. 20～50歳代 2. 60歳代 3. 70～74歳 4. 75～79歳 5. 80歳以上	1. 1人 2. 2人 3. 3人以上	世帯主75歳以上のみ回答 有・無・不明
6	1. 20～50歳代 2. 60歳代 3. 70～74歳 4. 75～79歳 5. 80歳以上	1. 1人 2. 2人 3. 3人以上	世帯主75歳以上のみ回答 有・無・不明
7	1. 20～50歳代 2. 60歳代 3. 70～74歳 4. 75～79歳 5. 80歳以上	1. 1人 2. 2人 3. 3人以上	世帯主75歳以上のみ回答 有・無・不明
8	1. 20～50歳代 2. 60歳代 3. 70～74歳 4. 75～79歳 5. 80歳以上	1. 1人 2. 2人 3. 3人以上	世帯主75歳以上のみ回答 有・無・不明
9	1. 20～50歳代 2. 60歳代 3. 70～74歳 4. 75～79歳 5. 80歳以上	1. 1人 2. 2人 3. 3人以上	世帯主75歳以上のみ回答 有・無・不明
10	1. 20～50歳代 2. 60歳代 3. 70～74歳 4. 75～79歳 5. 80歳以上	1. 1人 2. 2人 3. 3人以上	世帯主75歳以上のみ回答 有・無・不明
11	1. 20～50歳代 2. 60歳代 3. 70～74歳 4. 75～79歳 5. 80歳以上	1. 1人 2. 2人 3. 3人以上	世帯主75歳以上のみ回答 有・無・不明
12	1. 20～50歳代 2. 60歳代 3. 70～74歳 4. 75～79歳 5. 80歳以上	1. 1人 2. 2人 3. 3人以上	世帯主75歳以上のみ回答 有・無・不明
13	1. 20～50歳代 2. 60歳代 3. 70～74歳 4. 75～79歳 5. 80歳以上	1. 1人 2. 2人 3. 3人以上	世帯主75歳以上のみ回答 有・無・不明
14	1. 20～50歳代 2. 60歳代 3. 70～74歳 4. 75～79歳 5. 80歳以上	1. 1人 2. 2人 3. 3人以上	世帯主75歳以上のみ回答 有・無・不明
15	1. 20～50歳代 2. 60歳代 3. 70～74歳 4. 75～79歳 5. 80歳以上	1. 1人 2. 2人 3. 3人以上	世帯主75歳以上のみ回答 有・無・不明

(3) アンケート結果

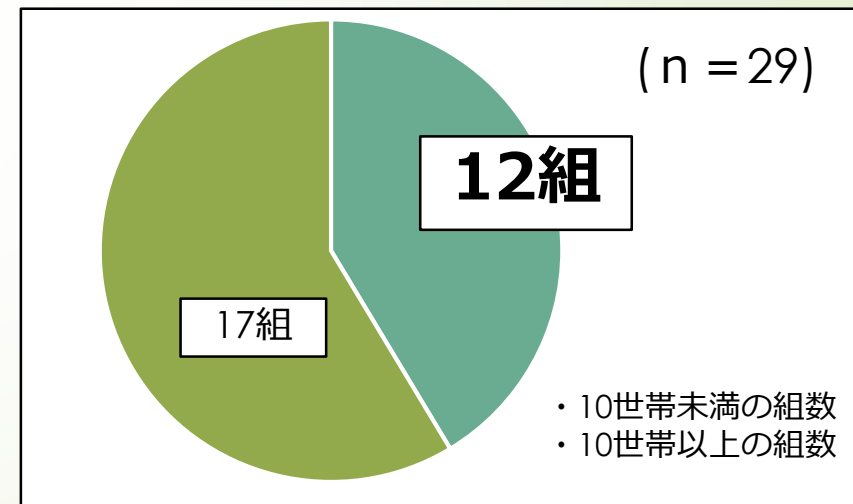
- ・各組におけるアンケート回答率の平均がおよそ80%に達して、高齢化状況の実状を知るうえで、貴重なデータを得る
- ・世帯主の年齢が、後期高齢者となる75歳以上の世帯の割合
組世帯数の50%程度以上を占める組→7組
- ・世帯主の年齢が、74歳以下の世帯数が10世帯未満
→12組
- ・特に高齢化が進む組→8組を抽出（自治会全体の約28%）

①「世帯主の年齢が75歳以上の世帯」の割合が、
組全体の約50%を超える組



※約50%...49%も含む

②「世帯主の年齢が74歳以下の世帯」の数が、
10世帯未満の組



①の7組は②の12組にも該当したため、役員選出の検討対象の組は**12組**と判明した

(4) 組長への現状聞き取り

特に高齢化が進む8組の組長に、役員選出についての現状を聞き取る



比較的組内の世帯数が多く、若年層～中年層によって役員を何とか選出できている **当面は現状維持➡2組**

4. 各種役員選出の見直し（改善）

（1）改善案1

- ・ 複数の組の統合による各種役員の選出 ➡ どの組がどの役員を選出するかなど、各組への役員配分方法を定める事が難しい

（2）改善案2

- ・ 各種役員の選出に苦慮している組（6組） ➡ 組長・婦人部員を除く運営委員・体育部員・防災委員の選出免除

【目安】 ①組内世帯数が10世帯前後

②世帯主が74歳以下の世帯数 ➡ 10世帯未満

③世帯主が75歳以上の世帯数の割合 ➡ 組内世帯数の50%程度以上

5. まとめ（今後に向けて）

今回の各種役員選出改善策 → 各種役員選出に苦慮している組の一部

役員選出免除、負担軽減 → **当面の対策**

後期高齢者予備軍の60歳代が5～15年後には後期高齢者（第1期高齢化期）

地域人口の中で最も多い40歳代が25～35年後には後期高齢者（第2期高齢化期）

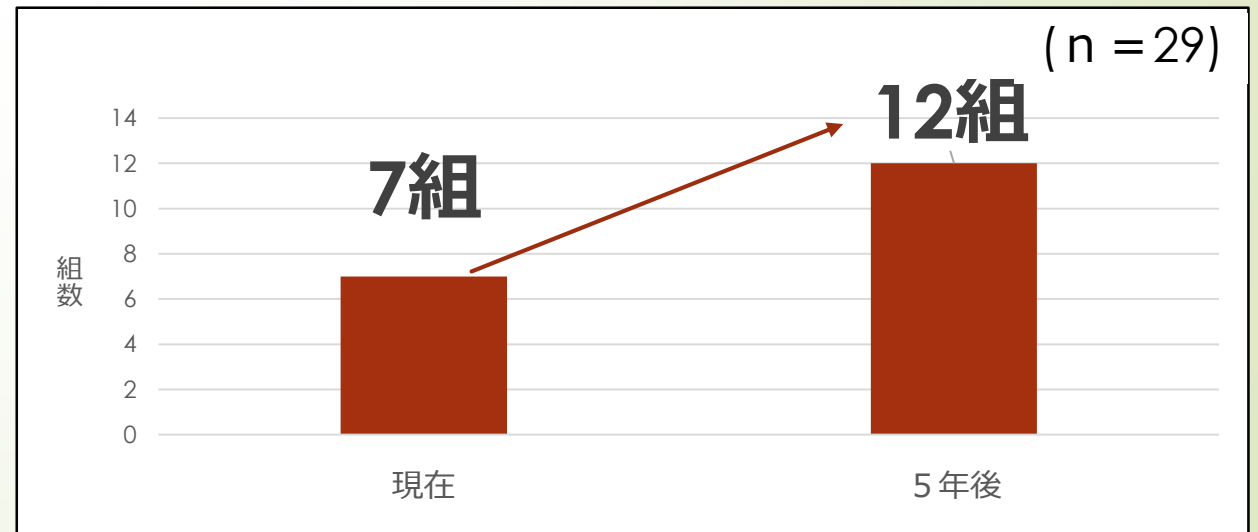


組単位での各種役員選出 → **ブロック単位（5～6組/ブロック×5ブロック）での各種役員選出体制へ徐々に移行**

《現在から5年後を見据えて...》

「世帯主の年齢が75歳以上の世帯」の割合が、組全体の約50%を超える組

5年ごとの定期的な見直しが必要



※約50%...49%も含む